

# 大学のセミナーハウス

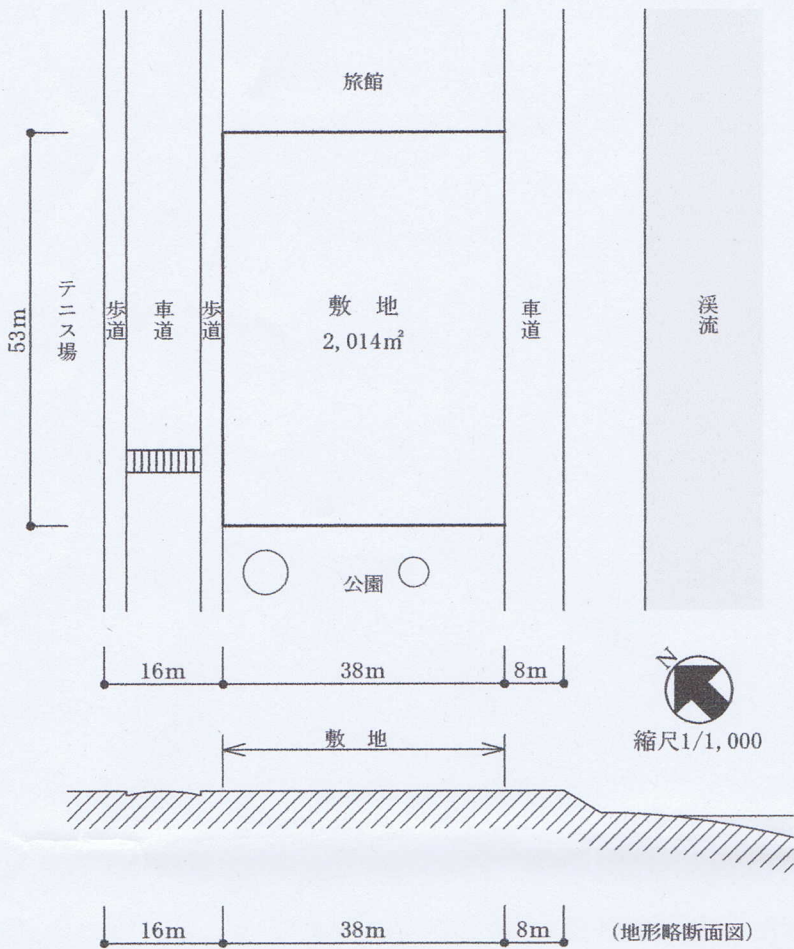
## I. 設計条件

この課題は、ある地方都市において、大学のセミナーハウスを計画するものである。本施設は、静かな自然環境の中で生活を共にしながら集中授業や研修活動を行うことにより、学生および教職員間の理解と信頼を深め、人格の形成に寄与することを目的とする。

また、この施設には、利用者の宿泊機能を併せもつものとし、屋外での研修・創作活動の場として**プラザ**を設けるものとする。

### 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、**平坦**で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、第一種住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は**60%**、容積率の限度は**400%**である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 溪流の氾濫、地下水及び積雪についての**特別の配慮**はしなくてよい。



### 2. 建築物

- 構造、階数等  
構造種別は自由とし、**地上2階建て**の1棟の建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、2,000㎡以上、2,400㎡以下とする。 **2,200㎡**  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に**算入しない**ものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
宿泊部門	宿泊室A	・洋室2人部屋とし、バルコニーを設ける。 ・約20㎡/1室(間口の幅は3m以上とする)、バス・トイレ付きとする。 ・17室計画する。 ・設置階は2階とする。	計約340㎡
	宿泊室B	・和室6人部屋とし、バルコニーを設ける。 ・約40㎡/1室(間口の幅は6m以上とする)、バス・トイレ付きとする。 ・6室計画する。 ・設置階は2階とする。	計約200㎡
	多目的室	・和室とし、押入れを設ける。 ・バルコニーを設ける。 ・設置階は2階とする。	約80㎡
	食堂	・80人程度が利用できるものとする。 ・カウンター、テーブル等を設ける。 ・厨房を設ける。 ・厨房からサービス用駐車場への動線に配慮する。	約200㎡
	浴室	・男性用、女性用として各1室(約70㎡/1室)を設ける。 ・各浴室に脱衣室、便所を設ける。	計約140㎡
	ラウンジ	・利用者同士の交流の場として計画する。 ・設置階は2階とする。	約40㎡
	リネン室		適宜
研修部門	ゼミ室A	・可動間仕切りにより2室(約50㎡/1室)に分割して個別に利用できるようにする。	約100㎡
	ゼミ室B	・3室(約30㎡/1室)計画する。	計約90㎡
	講師控室	・ゼミ室Aとの動線に配慮する。	適宜
共用・管理部門	エントランスホール	・アプローチは、プラザを経由してもよい。 ・風除室を設ける。	適宜
	事務室	・フロントを設け、カウンターを設置する。 ・4人分の事務スペースを確保し、机、いす等を設ける。	
	ロッカー室	・男性用、女性用として、それぞれ各1室設ける。	
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	

・便所、洗面室及び倉庫については、適切に計画する。  
・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

### 3. その他の施設等

- プラザ(屋外で研修・創作活動を行う広場)を、次のとおり計画する。
  - 地上に設けるものとし、まとまったスペース(直径8m以上の円が1つ入るスペースとする。)で**150㎡以上**(ピロティ、上部に屋根等がある部分は算入しない。)とする。
  - ゼミ室A及びゼミ室Bとの動線に配慮する。
  - 植栽を計画し、ベンチ、テーブル等の屋外ファニチャーを設置する。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として**1台分**、施設利用者用として**4台分**、サービス用として**2台分**を設ける。なお、その他の施設利用者用及び職員用の駐車場は、近隣の専用駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- ごみ置場を設ける。
- (1)~(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

HP × 1  
P × 4  
SP × 2

### 4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 溪流の景観を活かした計画とする。
  - 宿泊部門、研修部門及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
  - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
  - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、**経済性**にも配慮する。
  - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
  - 必要に応じて、耐力壁等を設け、耐震性に配慮する。
  - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。なお、給水設備は**受水槽方式**とする。
  - エレベーターを適切に設ける。

## II. 要求図書

答案用紙1及び答案用紙2の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

### 1. 要求図面(答案用紙1に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等(宿泊室A及びBの表示は、③による。) ハ. 要求室の床面積 ニ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(必要により、凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する。) ホ. 設備シャフト〔パイプシャフト(P S)、ダクトスペース(D S)、電気シャフト(E P S)〕の位置 ヘ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ト. 断面図の切断位置
(2) 2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. プラザ ハ. 駐車場(台数を明示する。) ニ. 通路、植栽等 ③ 宿泊室には、次のものを図示又は記入する。 イ. 代表的な宿泊室A及びBの室内プラン ロ. 宿泊室A(洋室2人部屋)の室名(A1, A2~A17と表示する。) ハ. 宿泊室B(和室6人部屋)の室名(B1, B2~B5と表示する。) ④ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホールを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下がり図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。

### 2. 面積表(答案用紙1に記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

### 3. 計画の要点等(答案用紙2に記入)

- 建築計画について、次の①~⑤の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物のアプローチの計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
  - 溪流の景観を活かした計画について工夫したこと
  - プラザの計画(ゼミ室との関係を含む。)について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
  - 宿泊室A及び宿泊室Bの計画について、その位置とした理由及び動線計画(避難計画を含む。)において工夫したこと
  - 食堂の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - 建築物の耐震計画について工夫したこと
- 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した空調方式と採用した理由
  - 「受水槽及び給水ポンプ」及び「受変電設備」について、その設置場所を記入し、維持管理又は機器からの騒音・振動防止の観点から工夫したこと
  - 設備シャフトの配置計画について工夫したこと